

令和7年度長久手市行政評価票（A票：事業評価票）					対象年度		令和6年度		
事業番号	20	事業名	家庭児童相談事業 (中事業名) 家庭児童相談室事業		担当課		子ども家庭課		
					予算区分（款-項-目-中事業）		3-2-1-12 家庭児童相談室事業		
					決算書ページ		119	～ 119	一般
I 基本情報	総合計画	基本目標	2	子どもが元気に育つまち					
		政策	1	妊娠から出産・子育てまでの切れ目のない支援					
		施策	(1)	子どもたち一人ひとりに応じた支援体制の推進					
	その他	開始年度	平成24年度						
		終了予定年度	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 未定	市民・民間事業者との連携協働の可能性		両者と協働不可		
		根拠法令等	児童福祉法						
		関連計画	第3期子ども・子育て支援事業計画						
	事業の概要・目的	①事業概要 (どんな取組を行うのか)		アウトプット（詳細はⅡへ）		アウトカム（詳細はⅢへ）			
				②活動指標 (取組の進捗をはかるもの。 また、それがどうなるのか)		③中間成果 (①【対象】がどのような 状態に変わるのか)		④最終成果 (大事業の将来像)	
		【対象】 <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> その他 対象の数： 12406 【事業内容】 子どもの養育等、様々な困難に直面している家庭を総合的に支援する。要保護児童等への支援をはじめ、DV防止対策の充実を図る。		【アクションプラン指標】 家庭相談員の適正配置 【その他の指標】		保護者が育児に困った時に、相談室に相談することにより助言を受けられる。 (成果指標名) 相談件数		大 事 業 共 通 児童が健全に育成できるまちとなる。	

Ⅱ 活動状況（アウトプットの詳細）	活動指標	活動指標名		単位	基準値（2023年） 目標値（2028年） ※AP指標のみ		区分	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度	R8(2026) 年度	R9(2027) 年度	R10(2028) 年度	
		1	【アクションプラン指標】 家庭相談員の適正配置	人	基準値	3	目標値	3	3	3	3	3	
					目標値	3	実績	3					
		2			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		3			基準値		目標値						
					目標値		実績						
		4			基準値		目標値						
					目標値		実績						
	エピソード	事業開始の背景	平成24年市制施行による福祉事務所設置に伴い、当時の子育て支援課に設置し事業開始。平成31年4月に子ども部子ども家庭課所管となる。										
		各年度の実績、改善したこと。目標が達成できなかった場合はその理由											
		R6	年度当初は相談員1人であったが、継続して求人活動し、年度途中で7月に1人、8月に1人雇用し、8月からは相談員3人体制となった。				R7						
		R8					R9						

Ⅲ 事業の成果・課題分析（アウトカムの詳細）	成果指標（CHECK）	成果指標名（中間成果をはかるもの）		単位	成果指標の推移と目標									
		相談件数		件	4 年度		5 年度		【現状】 6 年度		7 年度		8 年度	
					219		263		247		247		247	
		成果達成状況						指標目標値の根拠						
		B	A. 想定より良い B. 想定どおり C. どちらともいえない D. 想定を下回っている						相談件数の動向により、相談体制の評価ができるため。					
	評価の理由、分析													
	ほぼ例年どおりの実績であるため													
	加える変化（ACTION）	今後の方向性		今後の方向性の理由										
		B	A. 拡充 B. 現状維持 C. 縮小 D. 廃止		社会福祉事務所事業に該当し、体制維持は必要である									
		改善ポイント (成果指標を踏まえ、総合計画基本目標達成のため、必要性、有効性、効率性、公平性、歳入確保の観点等から見直しの余地のある取組を記入)												
見直しの余地のある取組名		見直しの方向性	理由及び具体的な見直しの内容								見直し可能年度			
1		会計年度任用職員相談員の雇用	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	正職員福祉職が家庭児童相談室に配置されたため。人事課との協議が必要である。								R 8		
2		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												
3		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止												

IV 費用	令和8年度予算の方向性（PLAN）	R8年度の費用（R7年度比）		3 年 間 の 推 移	(単位：千円)		R5(2023)年度		R6(2024)年度		R7(2025)年度
		B	A. 拡充 B. 現状維持		事業費	予算	決算	予算	決算	予算	
			C. 縮小 D. 廃止			3,564	3,225	35	29	35	
		理由			特定財源	合計額	2,936	2,890			
		事業費用は最低限で計上しており、現時点ではこれ以上の費用削減は難しい。				(内 国費)	2,936	2,890			
						(内 県費)					
						(内 諸収入)					
						(内 その他)					
					一般財源	628	335	35	29	35	
		積算額			R7年度予算の内訳 ＜細々節名、 予算額、（R6年度予算額）＞						
		普通旅費 2千円（2千円） 費用弁償 9千円（9千円） 消耗品費 9千円（9千円） 道路通行料 3千円（3千円） 家庭相談員連絡協議会負担金 12千円（12千円）									